

## 創価大学に対する大学評価結果ならびに認証評価結果 ＜工学部・工学研究科＞

### 教育内容・方法

#### (1) 教育課程等

##### 工学部

学部の教育理念に沿った教育目標が具体的に明示されており、また、それを達成するために必要な教養教育や専門教育などの教育内容が各学科とも概ね整備されていると判断する。

しかし、グローバル化時代に対応させた教育と幅広い人間的教育を目指しているものの、生命情報工学科の基礎科目において物理・化学系、生物・分子生物学系の科目数に対して数学・情報科学系の科目数が少ない点、環境共生工学科において共通科目を1年次に履修しにくいカリキュラムになっている点など、カリキュラム配置を改善すべきところも見受けられる。

##### 工学研究科

先端分野の専門的な学問を修得した独創的研究者および社会に貢献できる高度な専門的技術者の育成という工学研究科の理念・目的が具体的に明示されており、そのためのカリキュラムおよび教育・研究指導体制が概ね整備されている。

ただし、工学研究科の大学院要覧はかなり簡略なもので、詳細な内容が読み込めない。専攻ごとに教育目標などを記載した方が、大学院学生にとっては手助けになるので、検討が必要である。

#### (2) 教育方法等

##### 工学部

履修ガイダンスやコンタクト・グループ制度などによる組織的な履修指導、履修上限単位数の設定とその解除のための成績優秀者の要件の整備、全科目に対する学生による授業評価の実施などにより、学生の履修意欲を高めることで教育目標を達成し、十分な成果をあげるための教育方法の改善は概ねなされていると判断する。

ただし、評価方法などに空欄が目立つなど、シラバスの記述内容や量に教員間での精粗が見受けられる。

##### 工学研究科

大学院学生への組織的な履修指導、中間発表会や進捗報告会などによる達成度を確認しながら必要に応じて適切に行われる研究指導、定期的な懇談会における授業改善のための学生からの意見聴取などが行われており、工学研究科の教育目標を達成し、十分な成果を上げるための教育方法の改善はなされていると判断できる。

ただし、シラバスの記述内容については検討・改善すべき点が見受けられる。

### (3) 教育研究交流

#### 工学部

基本方針に則って留学生や帰国生徒の受け入れ、教員の海外派遣、学生や教員の海外における研究成果の発表などが行われており、国際交流の基本方針は概ね達成されている。

#### 工学研究科

研究開発国際連携推進センターを設置し、特に国外との連携推進として研究者交流を図っている点や、大学院学生の国際会議での発表補助金制度を整備して支援・推進している点は評価できる。

### 学生の受け入れ

#### 工学部・工学研究科

学部における理念・目的に応じた学生の受け入れ方針を明確に定め実施されており、その目標は概ね達成されている。恒常的に入試制度の改革が検討され、多様な入学者選抜方法（一般入試、AO入試、指定校推薦、公募推薦入試）における募集定員の割合もほぼ適切である。また、定員管理も概ね適正に維持されている。

### 研究環境

#### 工学部・工学研究科

学部・研究科の理念・目的を達成するために、若干の個人差は見受けられるが専任教員ほぼ全員が活発な研究活動を行い、教員の研究活動をサポートするための研究費（学内研究費、学部共同研究費、オープンリサーチプロジェクト研究費）、研修機会制度（特別研究員制度、在外研究員制度）、研究施設（個室、研究室、実験室）などの研究環境もほぼ整備されており、その目標は概ね達成されている。

しかし、研修機会制度利用のためのバックアップ体制の整備や担当授業時間が非常に多い教員に対する研究時間の保障など、今後検討・改善すべき点もいくつか見受けられる。

### 教員組織

#### 工学部・工学研究科

学部・研究科ともに、理念・目的・教育目標を達成する教育・研究を行うための適切な教員組織が整備されており、その目標は概ね達成されている。

工学部の専任教員数は大学設置基準を大きく上回っており、教員1人あたりの在籍

学生数も少ない。また、開設科目のほとんどを専任教員が担当しており、実習・演習科目にも助手制度およびTA制度を活用した適正な教員配置がなされている。さらに、教員の任免、昇格に関する基準と手続きも明文化されている。

#### 施設・設備

##### 工学部・工学研究科

講義室、実習室、図書館の座席数、図書の冊数とも基準を満たしていると判断される。また、パソコン、LAN、ポータルシステムなどによる情報ネットワーク化も進められている。さらに、教員、学生、職員が常にキャンパス・アメニティの改善を図っている点は評価できる。学部・研究科の施設・設備の整備および運用状況はその目標を概ね達成している。

ただし、全学共通の自習室以外には工学部学生が自由に利用できる自習室がないので、工学部の学生専用の自習室、談話室などの設置を今後検討すべきである。